



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 3.0 リリースノート

摘要

本書では、HPE OneView 3.0 の新機能、インストールとアップデート手順、および既知の制限事項について説明します。

このリリースは、HPE OneView の仮想アプライアンスを使用して HPE ProLiant サーバー、HPE Virtual Connect、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

部品番号: 5200-0308
2016 年 9 月
第 1 版

© Copyright 2013-2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPE から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HPE 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPE はいかなる責任も負いません。

商標

Google® は、Google Inc.の登録商標です。Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の商標です。VMware® は、VMware Inc.の登録商標です。

保証

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。

目次

1 リリースの説明とインストール/アップグレード手順.....	4
1.1 はじめに.....	4
1.2 HPE OneView 3.0 の主な機能.....	4
1.3 改訂されたドキュメント.....	5
1.4 アプライアンスのインストール/アップグレード手順.....	5
2 問題と推奨処置.....	6
2.1 HPE OneView 3.0 アップデート後の認証エラー.....	6
2.2 Internet Explorer 10 使用時の表示問題.....	6
2.3 プロファイル無しのサーバーをベイにつなぐと電源投入時のトラップを受信しない.....	6
2.4 論理インターコネクトファームウェアの更新実行時に発生するサーバーの電源状態の問題.....	6
2.5 インターコネクト更新時に無効なフィールド値により発生するアクティビティのタスクエン トリーの問題.....	7
2.6 プロファイルのドロップダウンメニューに誤った 3PAR ボリュームが表示される.....	7
2.7 サーバー名ではなくサーバーの URI が記載されているタスクとアラートがある.....	7
2.8 650M および B22HP ファブリックエクステンダのファイバチャネルリンクの問題.....	7
2.9 サーバーハードウェアの取り外しと挿入時に起こる収集の失敗.....	8
2.10 オフラインファームウェアの更新後もステータスが残る.....	8
2.11 一括電源操作時の問題.....	8
2.12 c7000 エンクロージャーインポート後の IPv6 アドレス更新に関する問題.....	8
2.13 Cisco Nexus 5K/6K スイッチ管理に関する制限事項.....	8
3 HPE OneView 3.0 の注意事項.....	9
4 ドキュメントの補足.....	10
4.1 Mozilla Firefox ESR バージョン.....	10
4.2 オンラインヘルプの SSH ホストキー説明.....	10
4.3 オンラインヘルプのハイパーリンク更新.....	10
4.4 『HP OneView REST API リファレンス』.....	10
4.5 ADD SSHKEY コマンド.....	10
5 サポートと他のリソース.....	11
5.1 認定サポート担当者にお問い合わせいただく前にご用意いただく情報.....	11
5.2 HPE への連絡方法.....	11
5.3 HPE OneView オンラインユーザーフォーラムに参加する方法.....	11
5.4 ソフトウェアテクニカルサポートとソフトウェアアップデート.....	11
5.4.1 ソフトウェアテクニカルサポートへの登録.....	12
5.4.2 ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法.....	12
5.4.3 HPE OneView のソフトウェアアップデートとファームウェアアップデートを入手する 方法.....	12
5.4.4 HPE ProLiant 製品のソフトウェアとドライバを入手する方法.....	12
5.4.5 保証.....	12
5.5 関連情報.....	12
5.5.1 すべての HPE 製品仕様『Quick Specs』.....	12
5.5.2 HPE OneView のドキュメントと Web サイト.....	12
5.5.3 エンクロージャー、iLO、およびサーバーハードウェアのドキュメントと Web サイト.....	13
5.5.4 HPE 3PAR StoreServ Storage のドキュメントと Web サイト.....	13
5.5.5 HPE Virtual Connect のドキュメントと Web サイト.....	14
5.5.6 HPE サポートセンターの Web サイトでドキュメントを検索.....	14
5.6 ドキュメントについてのご意見・ご質問の送信.....	14

1 リリースの説明とインストール/アップグレード手順

1.1 はじめに

本書では、HPE OneView バージョン 3.0 のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none">「HPE OneView 3.0 の主な機能」(4 ページ)「ドキュメントの補足」(10 ページ)関連製品および技術ドキュメントの見つけかたに関する「サポートと他のリソース」(11 ページ)
新規でアプライアンスをインストールする、または HPE OneView 1.10、1.20、または 2.0 アプライアンスをアップグレードするユーザー	<ul style="list-style-type: none">「アプライアンスのインストール/アップグレード手順」(5 ページ)HPE OneView の使用に関する「問題と推奨処置」(6 ページ)

最新の更新版については、<http://www.hpe.com/info/oneview/docs> の Hewlett Packard Enterprise Information Library にある英語版をご参照ください。

HPE OneView 3.0 の導入では、前のリリースの問題は次のように対処されます。

- 現在も 1.1x.yy でリリースされた HPE OneView を稼働されているお客様には、1.2x へのアップグレードをお勧めします。今後、1.1x.yy リリース版に対しては、重大なセキュリティ問題のみ対策が施されます。
- HPE OneView リリース 1.2x.yy の場合、製品の問題に対処する修正が、引き続きタイムリーに提供されます。

1.2 HPE OneView 3.0 の主な機能

サーバーおよびエンクロージャーの管理

- 内蔵コントローラに対する DL RAID のサポート
- Apollo 2000、4000、および 6000 向け監視モード
- HPE CloudSystem 10 と Cloud Services Automation (CSA) の RESTful API でクラスター展開を自動化
- スコープサポートにより、財務、販売、ERP 等、リソースを論理的にグループ化
- 自動バックアップのスケジューリング：日次、週次、オンデマンド
- c7000 向け統合リモートサポート、Gen8+BL および DL による 24x7 モニタリング、潜在的な障害の通知、自動コールログ、および自動パーツ発送
- iSCSI 接続用サーバープロファイルのサポート
- RAID 10 ADM には非対応

ネットワーク管理

- HPE OneView への移行を高速化する HP Virtual Connect 16Gb 24 ポートファイバーチャネルモジュールのサポート
- 稼働中の Virtual Connect の HPE OneView への移行
- HPE FlexFabric 20Gb 650FLB の NIC ポートあたり 8 種類の物理機能のサポートおよび HPE VC FlexFabric-20/40 F8 モジュール搭載 10Gb 556FLB/メザニアアダプター
- Cisco Nexus/FEX 環境をプロビジョニングするためのモニタリングと基本管理機能

- エンクロージャ数 4 個までの Virtual Connect Manager (VCM) から HP OneView 3.0 への並行移行

ストレージ管理

- HPE StoreServe 3PAR システムとの Synergy ベースの FC および FCoE サーバー接続
- SAN ストレージの拡張性の向上
- 自動 SAN ゾーニングの機能強化

パートナーの統合

- Microsoft System Center との統合で、HPE OneView 3.0 と、SPP 2016.06.0 以降のファームウェアおよびドライバをサポート
- VMware vCenter との統合による仮想アプライアンスとしての提供で初期セットアップを簡素化

その他の機能強化

- 仮想ディスクの拡張によりファームウェアリポジトリのサイズを 100GB に拡大

1.3 改訂されたドキュメント

HPE OneView に関する次のドキュメントは、<http://www.hpe.com/info/oneview/docs> で入手できます。

- 『[HPE OneView 3.0 サポートマトリックス](#)』
- 『[HPE OneView 3.0 インストールガイド](#)』
- 『[HPE OneView 3.0 ユーザーガイド](#)』
- 『[HPE OneView API リファレンス 300](#)』

1.4 アプライアンスのインストール/アップグレード手順

インストール/アップグレード手順については、『[HPE OneView 3.0 インストールガイド](#)』にある「アプライアンスの更新」の章をご参照ください。

2 問題と推奨処置

ここでは、このリリースの問題と既知の制限事項について説明します。

2.1 HPE OneView 3.0 アップデート後の認証エラー

HPE OneView 1.2 から 3.0 へアップデートを行うと、ログインセッションのトークンが 32 文字から 48 文字に変わるため、更新前に作成されたログインセッションのトークンは無効になります。このため、認証にログインセッションの旧トークンを使用するスクリプトコマンド全てで認証エラーが発生します。

推奨処置

更新完了後に、新規のログインセッショントークンを取得します。

2.2 Internet Explorer 10 使用時の表示問題

Internet Explorer 10 使用時は、トポロジ（論理インターコネクトおよび論理インターコネクトグループ）を表示する HPE OneView ページ内の接続線の強調表示ができません。

推奨処置

HPE OneView がサポートされている他のブラウザをお使いください。

注記: Internet Explorer 10 のサポートは、今後いずれかの時点でのリリースで廃止を予定しています。

2.3 プロファイル無しのサーバーをベイにつなぐと電源投入時のトラブルを受信しない

ラックマウント型サーバーでは、共有ネットワークポート（SNP）に iLO が構成されている場合、サーバーの電源を入れても HPE OpenView 3.0 のアクティビティページでアラートを発生させることはありません。かつ、サーバーの電源状態に変化はありません。

推奨処置

電源を入れた後、毎回サーバーを最新の状態に更新するか、推奨されているとおり常時専用ネットワークポートをご使用ください。

2.4 論理インターコネクトファームウェアの更新実行時に発生するサーバーの電源状態の問題

並列起動を用いて論理インターコネクトファームウェアの更新を実行すると、サーバーの電源状態の検証が行われなため、電源が入っているサーバーがあっても更新はブロックされません。論理インターコネクトファームウェアの更新画面にはすでに、電源供給停止の可能性について明示されています。

推奨処置

論理エンクロージャファームウェアの更新を実行して、サーバーの電源がオフになるまで更新をブロックするか、並列起動を用いた論理インターコネクトファームウェアの更新前にサーバーの電源をオフにします。

2.5 インターコネクト更新時に無効なフィールド値により発生するアクティビティのタスクエントリーの問題

無効なフィールド値のあるインターコネクト設定の更新に /logical-interconnects/<id>/settings API が使用されている場合、アクティビティのタスクエントリーには詳細がありません。

推奨処置

HP OneView UI または /logical-interconnects/ethernet_settings API を使用して相互接続設定の更新を行ってください。

2.6 プロファイルのドロップダウンメニューに誤った 3PAR ボリュームが表示される

直接接続ネットワークが異なるエンクロージャにまたがり 2 種類以上の相互接続に関連付けられており、その直接接続ネットワークが複数のストレージシステムにもまたがって使用されている場合、**プロファイルの作成/編集のボリュームの追加**ページにある**既存のボリューム**ドロップダウンに、予想より多いボリューム数が表示される場合があります。

2.7 サーバー名ではなくサーバーの URI が記載されているタスクとアラートがある

参照先サーバーへのリンクが含まれていないタスクとアラートがあります。各種メッセージで参照するのは、サーバー名のこととサーバーの URI のこともあります。名前によるサーバーの検索は容易ですが、URI の検索は困難です。

推奨処置

1. HP OneView 3.0 の**サーバーハードウェア**のページに移動します。
2. 検索バーを使って URI でサーバーを検索します。例えば `{_uri:/rest/server-hardware/123-45-67-809}` のように、`{_uri:}` を先頭につけて検索を行います。

2.8 650M および B22HP ファブリックエクステンダのファイバチャネルリンクの問題

B22HP ファブリックエクステンダ (FEX) で構成されるエンクロージャでは、ファイバチャネル用の FlexNIC 接続でのブートソース検出が UEFI モードでできず、ROM ベースのセットアップユーティリティ (RBSU) で試すとリンクダウンの発生が表示されるという問題が見られる場合があります。起動にレガシーモードをお使いのお客様の場合、2 種類のブートモードの動作の違いが原因で通知受信ができないことがあります。この問題は、ファイバチャネル接続のみがサーバープロファイル内で FlexNIC 用に構成された接続である場合に、イーサネット機能が有効化されないという FlexNIC のプログラミング方法にあります。この構成では、ファイバチャネル機能を正常に構成するには、イーサネット機能が少なくとも 1 種類は有効化されている必要があります。

推奨処置

ブレードでのファイバチャネルのブートソース検出不能または、いったんオペレーティングシステムがロードされるとボリュームへのアクセスができなくなるという問題を回避するために、c7000 エンクロージャの B22HP ファブリックエクステンダーに接続されている FlexNIC の各ポートにイーサネット接続を作成されることをお勧めします。単一のイーサネット接続を追加することにより、FlexNIC が正常に構成され、ファイバチャネル機能が正常に有効化されます。

2.9 サーバーハードウェアの取り外しと挿入時に起こる収集の失敗

スケジュールされたリモートサポートデータ収集の間にサーバーハードウェアの取り外しや挿入を行うと、収集が失敗する可能性があります。ブレードの取り外しと挿入のみが影響しません。

推奨処置

サーバーハードウェアの取り外しと挿入を、スケジュールされた収集操作以外の時間に設定するか、スケジュールされた収集の予定時間を変更します。

2.10 オフラインファームウェアの更新後もステータスが残る

オフラインのファームウェア更新後もオンラインファームウェア更新実行の試行（サーバープロファイル経由）が続く場合、ユーザーが OS と SUT（Smart Update Tools）をインストールするまで以前のオフライン更新が残っています。OS 内にすでに SUT がある場合には、この問題が見られることはありません。

推奨処置

OS にログインし、SUT がインストールされているかを確認します。インストールされていない場合は、OS に SUT をインストールします。

2.11 一括電源操作時の問題

サーバープロファイルを介した一括電源アクションが、予想どおりに動作しない場合があります。

推奨処置

サーバーの電源を個別に入れるか、サーバーハードウェアを介して一括電源操作を行ってください。

2.12 c7000 エンクロージャーインポート後の IPv6 アドレス更新に関する問題

c7000 エンクロージャーを IPv4 アドレスのみで構成された Onboard Administrator を用いて HPE OneView へインポートした後、Onboard Administrator で IPv6 を有効にすると、**エンクロージャー**のページに重大なエラーである「Onboard Administrator リンクダウン」が表示されます。また、IPv6 アドレスは、次の HPE OneView ページでは、自動更新されません。エンクロージャー | ハードウェア | プライマリ OA、エンクロージャー | ハードウェア | スタンバイ OA、およびインターコネクト | 一般。

推奨処置

重大なエラー「Onboard Administrator リンクダウン」を手動でクリアし、エンクロージャーを最新の状態にして IPv6 アドレスに更新します。

2.13 Cisco Nexus 5K/6K スイッチ管理に関する制限事項

Cisco FEX インターコネクトを用いた Cisco Nexus 5K/6K スイッチ管理対象の SAN に対しては、サーバープロファイル構成による SAN 起動がサポートされていません。

3 HPE OneView 3.0 の注意事項

サポートされる iSCSI ブート構成

iSCSI ソフトウェアのブートターゲット選択に HPE OneView をお使いいただけます。次のパラメータがサポートされています。

- IPv4
- 静的 IP (DHCP はサポートされません)

注記: HPE OneView では、iSCSI の構成パラメーターの自動検出を行いません。

iLO4 デバイスの管理

iLO4 を搭載デバイス管理する場合、HPE OneView 3.0 は、iLO4 ファームウェアバージョン 2.40 以上で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO4 ファームウェアのバージョン 2.3x をお持ちの場合は、お持ちの iLO4 ファームウェアをバージョン 2.40 以降にアップグレードしてから HPE OneView 3.0 を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

アダプターポートの設定

レガシー BIOS モードでサーバーブレードを使用した SAN (FC または iSCSI) から起動するサーバープロファイル接続を新規作成する場合は、アダプターのポート 1 が設定されている必要があります (ポート 1、ポート 2 両方が設定されていてもかまいません)。ポート 2 のみ設定を行うと、誤ったデバイス (通常はローカルディスク) からサーバーが起動される原因となる場合があります。この動作は、ご使用のアダプターのモデルによって異なります。

4 ドキュメントの補足

次の情報は公開後に利用可能となったため、HPE OneView 3.0のドキュメントでは表示されません。

4.1 Mozilla Firefox ESR バージョン

Mozilla Firefox ESR のバージョンは、45.x です。

4.2 オンラインヘルプの SSH ホストキー説明

設定：バックアップで、以下のように内容が変更されています。

[バックアップ設定の編集] 画面の詳細

画面の各部	説明
[SSH ホストキー]	<p>リモートバックアップ SSH サーバー上の SSH サーバーデーモンが、インバウンド接続の処理に使用する公開キー。</p> <p>SSH ホストキーは、OpenSSH の公開キー形式で指定しなければなりません。</p> <p>SSH サーバー構成は、このキーを格納する方法を決定します。たとえば、RSA キーを使用し、リモートホストで Linux を稼働させている場合であれば、OpenSSH により <code>/etc/ssh/ssh_host_rsa_key.pub</code> にホストキーが格納されます。</p> <p>注記: <code>ssh</code>、<code>scp</code>、<code>sftp</code> などのクライアントプログラムとのアウトバウンド接続を有効にするために、リモート SSH サーバーに構成されているユーザーキーを使用しないでください。</p>

4.3 オンラインヘルプのハイパーリンク更新

『エンクロージャーとエンクロージャーグループのトラブルシューティング』の「移行に失敗する」セクションで、ハイパーリンクが機能しません。2つ目の症状で、エンクロージャーの移行が完了しなかったことを知らせるメッセージが表示された場合に、ステップ 3a が、「GET /rest/login」セッションを示しています。この記述に誤りはありませんが、正確なハイパーリンクについては『[HPE OneView API リファレンス](#)』の「login-sessions」ページへ移動してください。

4.4 『HP OneView REST API リファレンス』

注記: サポートされる API の最小バージョンは今後のリリースで変更されることがあります。このため、HP OneView の新しいバージョンへのアップグレード時の互換性の問題を回避するためご都合のよいときに、できるだけ早く最新の API バージョンに移行することをお勧めします。

注記: HPE OneView REST API のバージョンで 120 より前のものは、HPE OneView 3.0 のリリースに伴い廃止される予定です。API の呼出しでバージョン番号の指定がないものについても、廃止される予定になっています。これらのバージョンに対するサポートは、HPE OneView の次回メジャーリリースで終了します。サポートされるファームウェアバージョンの完全なリストについては、[HPE OneView API リファレンス](#)の「製品について」をご参照ください。

注記: 特定の非同期 API は、レスポンスボディでタスクを返します。ただし、この動作は非推奨になり、今後の API バージョンで削除されます。タスクの URI はすべての非同期レスポンスの位置ヘッダー（HTTP ステータス 202）に返されます。したがって、クライアントはこの位置ヘッダーを使用して、この操作に関連したタスクにアクセスしてください（レスポンスボディをこのために使用しません）。

4.5 ADD SSHKEY コマンド

エンクロージャーの設定スクリプトでは、**ADD SSHKEY** コマンドが許可されていません。

5 サポートと他のリソース

次のトピックでは、認定テクニカルサポートに関する情報と、HPE OneView を使用する上で役立つその他のリソースおよびドキュメントを紹介します。

5.1 認定サポート担当者にお問い合わせいただく前にご用意いただく情報

認定テクニカルサポートにお問い合わせいただく場合は、以下の情報をお手元にご用意ください。

- お客様の SAID (Service Agreement Identifier)
- ソフトウェア製品名一 (HPE OneView)
- ハイパーバイザー仮想化プラットフォームおよびバージョン
- アプライアンスによって生成されたメッセージ
- 使用しているその他の HPE 製または他社製ソフトウェア
- メッセージで分析のためのサポートダンプを作成することが推奨される場合は、サポートダンプ

5.2 HPE への連絡方法

- 国別のお問い合わせ先情報については、以下の「Contact HP Worldwide」の Web サイトを参照してください。
<http://www.software.hpe.com/assistance>
- 次の HPE サポートセンターの Web サイトにある連絡先情報を参照してください。
<http://www.hpe.com/support/hpesc>
- 米国では、+1 800 334 5144 で HPE に電話でお問い合わせください。このサービスは、休日なしで 24 時間ご利用いただけます。品質向上のため、お電話の内容を録音またはモニターさせていただくことがあります。製品名を確認されたら「**OneView**」とお伝えください。

5.3 HPE OneView オンラインユーザーフォーラムに参加する方法

HPE OneView の対話型オンラインフォーラムでは、経験を共有したり、HPE OneView の使用に関する質問と回答を投稿したりできます。

ディスカッションへのご参加については、<http://www.hpe.com/info/oneviewcommunity> をご参照ください。

5.4 ソフトウェアテクニカルサポートとソフトウェアアップデート

Advanced ライセンスを持つ HPE OneView ソフトウェア製品には、3 年間、24 時間年中無休のソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実装または操作に関する問題を解決するためのテクニカルサポートへのアクセスを提供します。Standard ライセンスには、3 年間、9 x 5 のソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。

このサービスで、お客様は、ソフトウェアアップデートの通知と入手だけでなく効率の良い問題解決も受けることができます。

詳しくは、<http://www.hpe.com/support/hpesc> をご参照ください。

5.4.1 ソフトウェアテクニカルサポートへの登録

HPE OneView を購入すると、ライセンス付与証明書が配達されるか、またはメールで送付されます。この証明書は、オンラインでライセンスアクティベーションキーと引き換える必要があります。

ライセンス証明書をアクティベーションキーと引き換えると、ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスに登録するように指示されます。ハードウェアに組み込まれているライセンスは自動的に登録されます。

詳細については、<https://www.myenterpriselicense.hpe.com> をご参照ください。

5.4.2 ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

登録後、サービスの窓口の電話番号と SAID (Service Agreement Identifier) を含むサービス契約書が郵送されます。テクニカルサポートに連絡する場合は、SAID が必要です。

5.4.3 HPE OneView のソフトウェアアップデートとファームウェアアップデートを入手する方法

HPE OneView ソフトウェアアップデートおよび製品固有のファームウェアのバンドルを入手するには、<http://www.hpe.com/info/hpeoneview/updates> をご参照ください。

5.4.4 HPE ProLiant 製品のソフトウェアとドライバを入手する方法

HPE ProLiant 製品の最新のソフトウェアとドライバについては、<http://www.hpe.com/support/hpesc> をご覧ください。

5.4.5 保証

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。この保証は、配布メディアにあるすべての製品に適用されます。

5.5 関連情報

HPE OneView および関連製品の技術ドキュメント、Web サイト、その他のリソースについては、次のトピックを参照してください。

- 「すべての HPE 製品仕様『Quick Specs』」(12 ページ)
- 「HPE OneView のドキュメントと Web サイト」(12 ページ)
- 「エンクロージャー、iLO、およびサーバーハードウェアのドキュメントと Web サイト」(13 ページ)
- 「HPE 3PAR StoreServ Storage のドキュメントと Web サイト」(13 ページ)
- 「HPE Virtual Connect のドキュメントと Web サイト」(14 ページ)
- 「HPE サポートセンターの Web サイトでドキュメントを検索」(14 ページ)

5.5.1 すべての HPE 製品仕様『Quick Specs』

The Quick Specs Web サイト <http://www.hpe.com/quickspecs> Quick Specs の Web サイトは、デスクトップまたはモバイルデバイスからアクセスできる、HPE のハードウェアおよびソフトウェア製品の技術概要および仕様を提供する、便利な中心的リソースです。

5.5.2 HPE OneView のドキュメントと Web サイト

HPE OneView のドキュメント最新バージョンのダウンロードは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) をご覧ください。

- 『[HPE OneView リリースノート](#)』
- 『[HPE OneView サポートマトリックス](#)』
- 『[HPE OneView インストールガイド](#)』
- 『[HPE OneView REST API リファレンス](#)』
- HPE OneView ユーザーインターフェイスの HTML ヘルプファイルが含まれている [zip ファイル](#)

- 『[HPE OneView ユーザーガイド](#)』
- HPE OneView の REST API の HTML ヘルプファイルが含まれている [zip ファイル](#)
- [テクニカルホワイトペーパー \(英語\)](#)

HPE OneView ヘルプ	HPE OneView の Web サイト
<p>アプライアンスのヘルプを参照するには、? をクリックして、[ヘルプ] サイドバーを開きます。サイドバーのリンクから、新しいブラウザウィンドウまたはタブにヘルプを開くことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [このページのヘルプ]：現在の画面のヘルプが表示されます。 • [ヘルプを参照]：ヘルプシステムのトップ画面が表示されます。ここから、参照したいヘルプを選択できます。 • [REST API ヘルプの参照]：API スクリプティングに関するヘルプと参考情報が表示されます。 • 画面またはダイアログボックスの ? をクリックすると、そのダイアログボックスのコンテキスト依存のヘルプが表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 主要 Web サイト：http://www.hpe.com/info/oneview • ソフトウェアアップデート：https://h20392.www2.hpe.com/portal/swdepot/displayProductInfo.do?productNumber=Z7550-63180 • ユーザーコミュニティフォーラム：http://community.hpe.com/t5/HPE-OneView/bd-p/hp-oneview#.V4agXvkrLIV • ビデオ：https://vrp.glob.itcs.hpe.com/SDP/Content/Booth.aspx?ID=131&tag=1061 (英語)

注記: ユーザーと開発者がローカルコンピューターまたは Web ブラウザーで HPE OneView ヘルプおよび『HPE OneView REST API リファレンス』を参照できるようにする手順については、オンラインヘルプを参照してください。

5.5.3 エンクロージャー、iLO、およびサーバーハードウェアのドキュメントと Web サイト

ハードウェアマニュアルの最新バージョンは、HPE サーバーの Information Library <http://www.hpe.com/go/enterprise/docs> からダウンロードいただけます。

ハードウェア製品について詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

エンクロージャーおよび iLO の Web サイト	HPE ProLiant サーバーハードウェアの Web サイト
<ul style="list-style-type: none"> • HPE BladeSystem エンクロージャー：https://www.hpe.com/us/en/integrated-systems/ bladesystem.html?jumpid=va_r9hnifmypyq • HPE Integrated Lights-Out：http://www.hpe.com/info/iLO 	<ul style="list-style-type: none"> • 一般情報：https://www.hpe.com/us/en/servers.html?jumpid=va_tc837ryxzh • BL シリーズのサーバーブレード：http://www.hpe.com/info/ blades • DL シリーズラックマウント型サーバー：http://www.hpe.com/proliant-servers

5.5.4 HPE 3PAR StoreServ Storage のドキュメントと Web サイト

HPE 3PAR StoreServ Storage マニュアルの最新バージョンは、HPE Storage の Information Library <http://www.hpe.com/go/storage/docs> からダウンロードいただけます。

HPE 3PAR StoreServ Storage 製品の詳細については、https://www.hpe.com/us/en/storage.html?jumpid=va_r2880_w/en/large/tsq/pl_po_ob_ds_pd/data-storage_cc/dt を参照してください。

5.5.5 HPE Virtual Connect のドキュメントと Web サイト

HPE Virtual Connect のマニュアルの最新バージョンは、HPE サポートセンターからダウンロードできます。

ドキュメントのタイプ	HP Virtual Connect の Web サイト
<ul style="list-style-type: none">• HPE Virtual Connect のユーザーガイド• HPE Virtual Connect のコマンドラインリファレンス <p>「HPE サポートセンターの Web サイトでドキュメントを検索」(14 ページ)を参照してください。</p>	<p>http://www.hpe.com/info/vc/manuals</p>

5.5.6 HPE サポートセンターの Web サイトでドキュメントを検索

HPE サポートセンターで提供されている技術マニュアルにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. HPE サポートセンターの Web サイト <http://www.hpe.com/support/hpesc> にアクセスします。
2. 左側のナビゲーションペインで、**[製品サポート]**の下の **[マニュアル]**を選択します。
3. **[製品名または製品番号を入力してください]**に製品名を入力し (Storage 3PAR、Virtual Connect など)、**[実行]**をクリックします。
4. 複数の製品名が返された場合、目的の製品を選択します。
5. その製品の **[マニュアル]**ページで、**[マニュアルの言語]**から言語を選択します。
6. 次に、探すドキュメントの種類を選択して、表示されるドキュメントのリストを絞り込みます。たとえば、紹介情報、ユーザーガイド、セットアップおよびインストールのガイド、一般的な参考情報、またはホワイトペーパーを選択します。
ドキュメントのリストが長い場合は、ページをロードするのに数秒かかることがあります。表の見出しのソートオプションを使用して、タイトルまたは発行日別に、ドキュメントのリストをアルファベット順にソートします。
7. ローカルコンピューターにダウンロードする、またはオンラインで表示するドキュメントのタイトルを選択します。

5.6 ドキュメントについてのご意見・ご質問の送信

HP は、お客様のご要望に応えるドキュメントをご提供できるよう取り組んでいます。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、提案、コメントなどがございましたら、次のメールアドレスまでお寄せください。

docsfeedback@hp.com

UI および REST API ヘルプの場合

メッセージには、コンテンツが含まれるセクションのタイトルを記載してください。ご注意ページに記載されている製品名、製品バージョン、ヘルプのエディション、発行日も記載してください。

ユーザーガイドおよびその他のマニュアルの場合

メッセージには、ドキュメントの表紙に記載されているドキュメントタイトル、版数、発行日、出版日付、および製品番号を記載してください。